理科

教科名	理科	科目名	地学基礎
科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を育てるとともに，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。		
履修学年	2年	類型	文系
単位数	2単位	履修形態	必修
教科書	高等学校　改訂　地学基礎 （第一学習社）	副教材等	センサー地学基礎(啓林館) ニューステージ新地学図表(浜島書店)

①学習の目標

・宇宙の誕生と地球の形成について観察，実験などを通して探究し，宇宙と惑星としての地球の特徴を理解させる。

・変動する地球について観察，実験などを通して探究し，地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギーによって　変動してきたことを理解する。また，地球の環境と人間生活とのかかわりについて理解する。

1

②学習内容と授業の進め方

・上記の目標を達成するため、学習事項の解説により基本的な知識や考え方を理解し、それに関する実験・観察・実習をとおして思考力・判断力・表現力を身に付けていく。
・「なぜ、そうなのか?」を常に意識して進めていきます。

③学習に当たっての留意点

(1)ノート・実験プリント等の整理・整頓に努め、復習に利用できるように整備しておくこと。
(2)物事を筋道を立てて考える習慣をつけること。

④評価の観点

（1）関心・意欲・態度 【関】	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。 （学習活動への参加態度、探究活動への積極性、課題・ノートなど）
（2）思考・判断 【思】	地学的な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを行うとともに，事象を実証的，論理的に考えたり，分析的・総合的に考察したりして，問題を解決し，事実にもとづいて科学的に判断したことを言語活動を通じて表現する。 （定期考査の論述問題、レポートの考察など）
（3）観察・実験の技能・表現 【技】	地学的な事物・現象に関する観察，実験の技能を習得するとともに，それらを科学的に探究する方法を身に付け，観察，実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。 （定期考査の論述問題、レポート全体の内容など）
（4）知識・理解 【知】	観察，実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 （定期考査、課題・ノートなど）

⑤評価の方法

定期考査の結果、授業への取り組む姿勢・態度、実験レポートの内容等により、総合的に評価する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など（観点項目を記入）	
4	第1章　宇宙における地球	宇宙の構成 太陽 太陽系の中の地球	【関心・意欲・態度】 天文・宇宙に関わる諸現象を関心を持ち、意欲的に学習や実験を行うことができたか。 【思考・判断】 天文・宇宙に関わる諸現象を、それらを支配する諸法則を用いて、分析的・総合的に考察することができたか。 【実験・実習の技能・表現】 天文・宇宙に見られる諸現象に関わる映像や実験・観察の結果ををわかりやすくまとめることができたか。また、天文・宇宙を理解するための実験や調査等の技能を身に付けることができたか。 【知識・理解】 天文・宇宙に関わる諸現象に見られる法則を理解し、その内容を身に付けたか。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト レポート【関】【思】【技】 演習問題①【思】【技】【知】 前期中間ノート提出【関】【知】 前期中間考査【思】【技】【知】 レポート【関】【思】【技】
5 6 7	第2章　活動する地球	地球の姿 火山活動と地震		
8 9	第3章　移り変わる地球	地層や岩石と地質構造 地球環境と生物界の変遷	【関心・意欲・態度】 固体地球に見られる諸現象や地球と生命の共進化に関心を持ち、意欲的に学習や実験を行うことができたか。 【思考・判断】 固体地球に見られる諸現象をプレートテクトニクスという統一的な視点で分析的・総合的に考察することができたか。また、太陽系の惑星との比較から地球の特徴を明らかにすることができたか。さらに、地球と生命の共進化という視点で過去の地球に起きた諸現象を分析的・総合的に考察できたか。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト 演習問題②【思】【技】【知】 前期期末ノート提出【関】【知】 前期期末考査【思】【技】【知】
10 11	第4章　大気と海洋	地球の熱収支 大気と海洋の運動	【実験・実習の技能・表現】 固体地球に見られる諸現象や地球と生命の共進化に関わるVTRや実験・観察の結果ををわかりやすくまとめることができたか。また、固体地球や地球と生命の共進化を理解するための実験や調査等の技能を身に付けることができたか。 【関心・意欲・態度】 大気・海洋や地球環境に関わる諸現象を関心を持ち、意欲的に学習や実験を行うことができたか。 【思考・判断】 大気・海洋や地球環境に関わる諸現象を、関連する物理法則を用いて、分析的・総合的に考察することができた	レポート【関】【思】【技】 ・授業態度 ・発問評価 ・小テスト 演習問題③【思】【技】【知】 後期中間ノート提出【関】【知】 後期中間考査【思】【技】【知】
12 1			【関心・意欲・態度】 自然との共生に興味をもち，自然の恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて調べようとする。 【思考・判断】 地球環境の変化の時間スケールについて考えることができる。 【実験・実習の技能・表現】 ハザードマップを使って，防災に役立つ情報を読み取ることができる。 オゾンホールの面積のデータを使って，オゾンホールの面積の経年変化を調べることができる。	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト レポート【関】【思】【技】 演習問題④【思】【技】【知】 後期期末ノート提出【関】【知】 後期期末考査【思】【技】【知】
2 3	第5章　地球の環境	地球環境の科学 日本の自然環境		